

# DPC における病棟薬剤師配置の評価について

## 第1. 経緯

- 平成22年改定でDPCに導入する新たな機能評価係数について、DPC評価分科会での整理を経て、最終的に7つの具体的指標が中医協において検討された。
- この中で「チーム医療の評価」については、急性期医療において、様々な専門職種がチームとして質の高い医療を提供する取組みを評価することは重要との理解が得られる一方で、チーム医療の概念・定義や具体的な評価指標を設定するには更なる検討が必要であるとの指摘があり、更に、チーム医療の評価はDPC病院だけの課題ではなく、出来高も含めた診療報酬全体で整理すべきであるとの意見も踏まえ、その取扱いについては、今後更に検討することとされた（平成21年12月16日基本小委）。
- 前回の中医協総会での議論（平成22年1月13日）において、特に病棟で勤務する薬剤師の配置について、DPCでの評価を求める意見があり、今回改定での対応案について事務局で整理することとされた。

## 第2. 提案内容

- チーム医療の概念やその評価の在り方などについては、引き続き検討する必要があることから、平成22年改定以降に継続されるDPC機能評価係数の在り方の議論の中で検討することとしてはどうか。
- 一方、病棟における薬剤管理指導などの病棟薬剤師の業務について、病棟への配置に着目した評価手法を導入することにより、薬剤師の病棟配置を評価することとしてはどうか。

## 第3. 具体的内容

現在、DPC対象病院において出来高で算定されている薬剤管理指導料を、薬剤師の病棟配置を評価する機能評価係数として評価することを検討してはどうか。